

情報公開用文書

(多機関共同研究用)

西暦 2025 年 11 月 4 日作成 第 1.0 版

研究課題名	緩和ケアチームが関与した頭頸部癌化学放射線療法の口腔咽頭粘膜炎に対する強オピオイド鎮痛薬の漸減期間に関する研究 多機関共同観察研究
研究の対象	2018 年 1 月から研究機関の長の許可日までの間に横浜市立大学附属病院および横浜市立大学附属市民総合医療センターにおいて、緩和ケアチームに紹介された頭頸部癌に対する化学放射線療法の口腔咽頭粘膜炎に対して強オピオイドを使用した患者さんのうち、18 歳以上の方を対象とします。
研究の目的	頭頸部癌に対する化学放射線療法は確立された治療法ですが、治療による口腔咽頭粘膜炎が引き起こす疼痛が課題であり、鎮痛薬として医療用麻薬である強オピオイドが使用されることも多いです。しかし通常の癌の痛みと異なり、治療終了後に粘膜炎が改善した場合、強オピオイドを漸減中止していくことが必要ですが実臨床でどのようなになっているかのデータが乏しいのが実情です。横浜市立大学附属病院および横浜市立大学附属市民総合医療センターは大学病院のため、頭頸部癌に対する化学放射線療法による口腔咽頭粘膜炎の患者さんをフォローする機会が多く、この 2 病院で活動している緩和ケアチームに紹介された頭頸部癌で化学放射線療法による口腔咽頭粘膜炎に対して強オピオイドを使用していた患者さんの経過を研究することで、今後、同様の治療を受ける患者の疼痛管理について有用な情報を提供できる可能性があります。
研究の方法	診療録から情報を収集して、化学放射線療法による口腔咽頭粘膜炎で強オピオイドを使用した頭頸部癌患者さんが、緩和ケアチーム紹介時点での疼痛評価(使用している鎮痛薬の種類、量など)を調査します。また強オピオイド終了時点での疼痛評価や化学放射線療法の治療内容も調査します。ずれも通常の診療で得られた情報を用いますので、研究対象の方のご負担になることはありません。
研究期間	西暦 2025 年 12 月 1 日(実施機関の長の許可日) ～ 西暦 2027 年 3 月 31 日 情報の利用・提供を開始する予定日: 西暦 2025 年 12 月 1 日(実施機関の長の許可日)
研究に用いる情報の項目	【情報】診療録から以下の情報を収集します。 ・背景情報: 背景情報: 緩和ケアチーム介入時点での年齢、性別、身長、体重、喫煙歴、飲酒歴、既往歴、合併症、原疾患治療歴 ・バイタルサイン ・血液検査の結果: 白血球数、血清クレアチニン等 ・画像検査: 胸腹部レントゲン所見、CT 所見、MRI 所見 ・疼痛評価: 疼痛の鑑別、Numerical rating scale、オピオイド使用量、口腔咽頭粘膜炎の重傷度等 ・化学放射線療法: 化学療法の内容、放射線照射の内容

情報公開用文書

(多機関共同研究用)

情報の授受	本研究では、「研究組織」に記載されている各機関で上記の情報を収集します。共同研究機関で収集された上記の情報は、研究代表機関である横浜市立大学附属病院 緩和医療科へ提供します。集積された情報の解析結果については、「共同研究機関」と共有します。 情報は、各機関で USB 等の記録メディアにパスワードをかけた状態で保存します。情報を共有する際は研究代表機関の担当者が各機関に受け取りに行き、記録メディアを手渡しで受け取ることで共有します。集積された情報の解析結果を共同研究機関と共有する際も同様の方法で提供します。 情報は、研究代表機関で少なくとも 5 年間保管しますが、個人が特定できないよう加工した情報については、本研究の目的以外の学術研究に用いられる可能性または他の研究機関に提供する可能性があるため、保管期間終了後も期間を定めず保管します。また、共同研究機関に共有された情報も、上記と同様の期間保管します。廃棄する際は、個人を特定できないように処理した上で、復元できない方法で廃棄します。
個人情報の管理	情報は、個人名など単体で個人を特定できる情報を削除し、研究用の番号（識別コード）で管理します。必要時に個人を照合できるよう管理する表（以下、対応表）を作成して、識別コードから個人を特定することが可能になりますが、その対応表は各機関で管理し、外部へ持ち出すことはありません。上記の通り研究に関わる機関の間で情報の授受が発生しますが、研究対象の方が受診された病院以外の機関が個人を特定することはできません。
試料・情報の管理について責任を有する者	【研究代表機関に集積された情報の管理】 横浜市立大学附属病院の個人情報の管理責任者は病院長であります。その責務を以下の者に委任され管理されます。 研究代表者：横浜市立大学附属病院 緩和医療科 柳泉 亮太 【対応表の管理】 共同研究機関の責任者（「研究組織」の欄をご覧ください。） 【共有された情報の管理】 共同研究機関の責任者
利益相反	利益相反とは、研究成果に影響するような利害関係を指し、金銭及び個人の関係を含むものです。 本研究は研究責任者が所属する診療科の基礎研究費を用いて行います。本研究で効果を検討する薬剤の製薬会社と本研究の研究者の間に、開示すべき利益相反はありません。
研究組織（利用する者の範囲）	【研究代表機関と研究代表者】 横浜市立大学附属病院 緩和医療科 （研究代表者）柳泉 亮太 【共同研究機関と研究責任者】 横浜市立大学附属市民総合医療センター 麻酔科 （研究責任者）佐藤 仁

情報公開用文書

(多機関共同研究用)

本研究に関するご質問・ご相談等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますので下記連絡先までお申出下さい。

また、情報が当該研究に用いられることについて研究の対象の方もしくはその代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象といたしませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも対象の方に不利益が生じることはございません。ただし、拒否のお申し出をいただいた段階で既に研究結果が公表されていたときなど、データから除けない場合があります。

問い合わせ先及び研究への利用を拒否する場合の連絡先：

【横浜市立大学附属病院の患者さん】

〒236-0004 横浜市金沢区福浦 3-9

横浜市立大学附属病院 緩和医療科 (研究責任者) 柳泉 亮太

電話番号：045-787-2800 (代表)

【横浜市立大学附属市民総合医療センターの患者さん】

〒232-0024 横浜市南区浦舟町 4-57

横浜市立大学附属市民総合医療センター 麻酔科 (研究責任者) 佐藤 仁

電話番号：045-261-5656 (代表)

研究全体に関する問合せ先：

〒236-0004 神奈川県横浜市金沢区福浦 3丁目9

横浜市立大学附属病院 緩和医療科 (研究責任者) 柳泉 亮太

電話番号：045-787-2800 (代表) FAX：045-787-2866